

それぞれの知見と経験を互いに共有しつつ、ローカルかつグローバルの視点から地域課題解決に寄与する活動を共創し、もって地域の国際化推進に資することを目的として連携を推進する。

- ・教育研究フィールドの開拓および地域志向教育研究の促進。
- ・ふるさと納税を活用した新たな地域連携スキームの推進。
- ・人材育成プログラムの開発促進。

波及効果

- ・日本の人口減少・少子高齢化社会への課題解決への貢献拡大。
- ・多文化共生社会の推進。
- ・多様なパートナーとの協働・共創の推進。

高知大学次世代地域創造センター

事業：地域コーディネート、自治体連携、産学連携、知財

- ・大学と産学官民を結ぶ窓口。
- ・県内15市町村及び高知県と連携協定を締結し各種連携事業を実行中。



JICA四国センター

各県デスク：国際協力推進員4名（香川、愛媛、徳島、高知）

- 事業：開発教育支援、研修員受入、JICAボランティア、民間連携、市民参加、草の根技術協力
- ・四国4県の国際協力の拠点として、国際協力への理解を増進し、市民、NGO、大学、自治体等の国際協力を促進するための活動を実施。

連携・協力

連携内容（大枠）

- (1) 地域の国際化に関すること。
- (2) 中心市街地活性化に関すること。
- (3) 国際人材育成に関すること。
- (4) 多文化共生のまちづくりに関すること。
- (5) 交流・関係人口の創出及び拡大に関すること。
- (6) その他目的を達成するために必要な事項。

具体的な取り組み（例示）

- (1) 留学生、町内在住外国人を含む交流事業の展開。
- (2) 本山町でのインバウンド観光対策。
- (3) 嶺北高校魅力化プロジェクトへの参画。
- (4) 高知大学で学ぶJICA長期研修生との交流事業の展開。
- (5) JICA新任研修、高知大学による企画コーディネート。
- (6) 上記を通じた国際理解の醸成及び交流・関係人口の拡大。

連携・協力



人口：3,144人（2024年4月1日現在）
世帯数：1,770世帯（2024年4月1日現在）
職員数：74名（2024年4月1日現在）

本山町

- ・嶺北地域における産業・文化の中心地として長い歴史を持つ。
- ・ブランド米「土佐天空の郷」誕生とつなぐ棚田遺産の取組。
- ・四国のまんなか「アウトドアヴィレッジもとやま」に多くの観光客が来訪。

連携・協力

- ・産学官民連携による中心市街地の賑わい創出
- ・町内外からの地域の担い手・関係人口の拡大
- ・地域資源の活用・人材育成による地域の国際化

波及効果